

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和3年度第2回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	エネルギー構造高度化・転換による地域の水素・脱炭素まちづくりに関するF/S調査事業	
補助事業者名	福島県双葉郡広野町	
補助事業の概要	<ol style="list-style-type: none">事業提案の基礎資料となる現状の分析を行った。<ol style="list-style-type: none">町内の居住人口の構成・趨勢、地域の交通状況の分析を行った。町民バスの利用状況の分析、広野町及び周辺地域の人流状況の分析を行った。産業振興、経済活動の活性化の観点から有望と思われるマルシェ・フードコートの建設に必要なデータの収集・分析を行った。<ol style="list-style-type: none">マルシェ・フードコートの概要設計（マルシェの敷地内に太陽光発電設備を設置した場合のレイアウトを含む）を行った。施設ごとの想定使用電力の算出を行った。町民バスの代替としてのモビリティサービスの実現に必要なデータの収集・分析を行った。<ul style="list-style-type: none">モビリティサービスの課題抽出及び実現可能な複数の運営モデルを抽出した。マルシェ・フードコート事業、モビリティサービス事業のそれぞれについて事業性評価を行った。	
総事業費	73,979,741円	
補助金充当額	73,979,741円	
定量的目標	上記調査事業の結果に基づき、マルシェ・フードコート事業、モビリティサービス事業のそれぞれについて、令和4年度以降の官民連携による具体的な事業・整備・運営の実現と、化石燃料主体のエネルギー構造の高度化・転換を図るとともに、事業を通じた地元事業者等の高度化等への理解造成を図り、「広野町ゼロカーボン宣言（2040年にカーボンニュートラルを実現）」の実現に寄与する。	
補助事業の成果及び評価 （事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<ol style="list-style-type: none">過去の運行記録を用いた町民バスの利用状況を定量的に把握することができ、当初の目標を達成することができた。今後、本データを利用して実証実験を行う際のルート等を選定することとしたい。マルシェ・フードコート事業の事業性評価を行ったことで、今後、各組織（運営事業者、広野町役場、農業生産者）の役割及び事業実施スケジュールを確定させることができた。	
補助事業の実施に伴い締	契約の目的	エネルギー構造高度化・転換による地域

結された売買、貸借、請負 その他の契約 (※技術開発事業のみ：間 接補助を行った場合は、間 接補助先を記載)		の水素・脱炭素まちづくりに関するF/ S調査事業
	契約の方法	公募型プロポーザル方式による随意契 約
	契約の相手方	スターリングパートナーズ合同会社
	契約金額(間接 補助金額)	73,979,741円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。